

## 「外国為替及び外国貿易法」への対応について

京都中央信用金庫（以下「当金庫」といいます。）では、「外国為替及び外国貿易法」（以下「外為法」といいます。）に基づく経済制裁措置に対応するため、外為法第17条の規定により、お客様のお取引が外為法の規制対象取引に該当しないこと（もしくは、当局から許可を受けていること）を確認することが義務づけられております。

つきましては、お客様のお取引に際し、当金庫担当者が外為法に基づく確認をさせていただいておりますので、ご協力をお願いいたします。

主な規制対象取引は、以下のとおりです（一部抜粋）。

(1) 外為法で指定された資産凍結等経済制裁対象者との取引

※ 具体的な対象者は、財務省のホームページをご参照ください。

(2) 北朝鮮の「貿易に関する支払規制」に該当する取引

- ・北朝鮮を原産地または船積地域とする全ての貨物の輸入または仲介貿易に係るもの
- ・北朝鮮を仕向地とする貨物の仲介貿易に係るもの

(3) 北朝鮮に対する「支払の原則禁止措置」に該当する取引

- ・最終的な資金の受取人および受取人の実質的支配者の中に北朝鮮居住者（個人・法人）が含まれる支払（人道目的かつ10万円以下の場合を除く）

(4) 北朝鮮の「資金使途規制」に該当する取引

- ・「北朝鮮の核関連計画等に貢献し得る活動」に寄与する目的で行われるもの

(5) イランの「資金使途規制」に該当する取引

- ・「イランの核活動等に関連する活動」に寄与する目的で行われるもの

(6) ウクライナ情勢をめぐる「経済制裁措置」に係る支払等に該当する取引

- ・特定の個人・団体等（※）の資産凍結等の経済制裁対象者との取引
- ・ロシアの特定銀行、ロシア政府等による証券の取得等に係るもの
- ・ロシア・ベラルーシとの間の特定品目の輸出入、特定団体への輸出に係るもの
- ・ロシア・ベラルーシ向け特定技術の提供、特定団体への技術提供に係るもの、ロシア向け特定サービスの提供に係るもの
- ・ロシアにおいて行われる事業に係る対外直接投資に係るもの
- ・ロシア法人等により外国において行われる事業に係る対外直接投資に係るもの

※ 特定の団体等となるロシア・ベラルーシの団体（ロシア中央銀行を除く）については、当該団体により株式の総数または出資の総額の50%以上を直接所有されている団体（本邦内に主たる事務所を有する団体を除く）も資産凍結等の措置の対象

### <お客様へのお願い>

- ・ 上記(1)～(6)の規制対象取引（以下「外為法上の規制対象取引」といいます。）に該当しないこと（もしくは、当局から許可を受けていること）をご確認のうえ、お取引をお持ち込みいただきますようお願い申し上げます。
  
- ・ お取引のお持ち込みに際しては、次のとおりご申告をお願いします。
  - ① お取引目的をご申告いただくとともに、目的が輸入代金、仲介貿易代金等の場合は、商品の品目、原産地(国名)、船積地域(都市名)、仕向地(国名)(仲介貿易の場合)をあわせてご申告ください。
  - ② お取引が「外為法上の規制対象取引」に該当しないことをご申告ください。
  
- ・ その他、詳細につきましては、財務省・経済産業省のホームページをご参照ください。